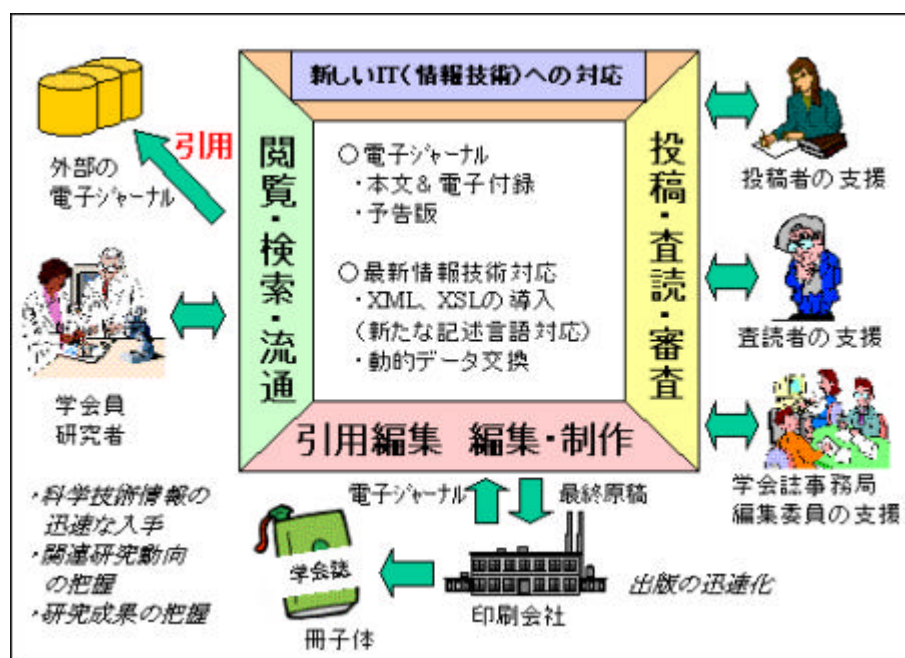


#### 4. 学協会からの学術情報発信

##### (1) 科学技術情報発信・流通総合システム (J-STAGE)

J-STAGE は、科学技術振興事業団が運営する、インターネットを利用した学会誌等の電子出版の共同利用のためのシステムであり、学協会等に対し、従来、印刷物として発行していた学会誌等を電子ジャーナルとしてインターネット上で公開するために必要なハードウェア・ソフトウェアを無料で提供している。

なお、電子ジャーナル制作支援機能及び電子ジャーナル公開機能を有している。



##### (2) 電子図書館サービス (NACSIS-ELS)

学術雑誌のページ・イメージをそのまま画像情報として蓄積し、書誌情報とともに検索できる情報提供サービス。雑誌の表紙や目次から記事を探し、ページをめくるように読むことができるとともに、プリンタへの高品質な印刷も可能である。

参加学協会 172 学協会  
データ件数 冊子数 28,766 冊  
論文数 1,098,839 論文  
画像数 3,710,546 ページ  
利用登録者 4,982 名  
(平成 14 年 2 月現在)

### (3) 科学研究費補助金(研究成果公開促進費)

#### 目的・性格

研究成果公開促進費は、重要な学術研究の成果の刊行、データベースの作成及び研究成果の公開発表を援助することによって、我が国の学術の振興と普及に資するとともに、学術の国際交流に寄与することを目的とする経費であって、研究者等が計画する研究成果の公開促進に係る事業のうち、特に重要なものを取り上げ必要な経費等を配分し、優れた研究成果の公的流通の促進を図るものである。

#### 種目(抜粋)

##### ア. 学術定期刊行物

我が国の代表的な学会又は、複数の学会の協力体制による団体等が、学術の国際交流に資するために定期的に刊行する特定欧文総合誌、欧文誌、欧文抄録を有する和文誌。

##### イ. データベース

我が国の学術研究動向を踏まえ、データベースの必要性は高いが欠落している分野、我が国で発展を遂げた分野、我が国がその研究や情報の世界的なセンターになっている分野等において、個人又は研究者グループ等が作成するデータベースで、既に実用に供し得る条件を備え、かつ、学術情報システム等を通じ、公開利用するもの。

#### 科学研究費補助金の申請・採択状況

##### ア. 学術定期刊行物(平成13年度実績)(単位:件)

申請件数	269(うち欧文156)
採択件数	167(うち欧文117)

##### イ. データベース(平成13年度実績)(単位:件)

申請件数	323
採択件数	155(うち重点データベース25)

### (4) データベースの公開状況

(科学研究費補助金以外の経費により作成されたデータベースを含む)

公開/非公開の区分	公開	相談に応じる	非公開	無回答	合計
データベース件数	1,627	538	553	27	2,745
割合(%)	59.3	19.6	20.1	1.0	100.0

(出典:国立情報学研究所「平成12年度学術情報データベース実態調査報告書」)

調査対象は、大学、公的研究機関等